令和５年度　福岡県立小倉西高等学校

ＰＴＡ総会議案書

令和５年度　ＰＴＡ定期総会次第

（総会成立宣言）

（１）開会のことば

（２）ＰＴＡ会長挨拶

（３）校長挨拶

（４）議長選出

（５）議事

① 令和４年度活動報告（案）・・・・・・・・・・２

② 令和４年度決算報告（案）・・・・・・・・・・３～４

③ 令和４年度会計監査報告 ・・・・・・・・・・３～４

④ 令和５年度役員選出

⑤ 令和５年度活動計画（案）・・・・・・・・・・５

⑥ 令和５年度予算（案）・・・・・・・・・・・・６～７

（６）旧役員挨拶　　新役員紹介

（７）令和５年度　　管理職・校務運営委員紹介

（管理職）	校　長	白川	英治	
（管理職）	教　頭	田中	厚範	
（管理職）	事務長	本木	ひびき	
教務部長	主幹教諭	小長光	美弥	（広報）
生徒指導部長	主幹教諭	鳥井	秀樹	（安全安心）
生徒指導課長	教　諭	西脇	裕子	（安心安全）
進路指導部長	教　諭	鈴木	久美子	（広報）
第１学年主任	教　諭	松本	寛史	（学年）
学年総括部長・第2学年主任	主幹教諭	福野	恭子	（学年）
第３学年主任	教　諭	河口	伸一	（学年）
企画研修部長	指導教諭	鈴木	敬輔	（広報）
情報広報課長	教　諭	武吉	大輔	（広報）
保健課長	教　諭	馬場	正人	（安全安心）
キャリア教育課長	教　諭	亀崎	大樹	（広報）
企画課長	教　諭	高田	優子	（安全安心）

（８）令和５年度分掌の努力目標

①教務部

②生徒指導部

③進路指導部

（９）閉会のことば

（10）諸連絡

令和4年度 PTA活動報告

月 日	事　　項	内　　容
5月2日	PTA総会	令和3年度活動報告・3年度決算・4年度予算審議（中止の為書面決議）
5月19日	北九州地区高P連定期総会	杉森会長参加（小倉リーセントホテル）
6月3日	県高P連定期総会	杉森会長参加（福岡リーセントホテル）
6月8日	第1回役員会・理事会	新役員紹介、令和4年度の活動について
6月17日	九高P連大会	長崎大会（リモート開催）
6月28日	食堂試食会	学年委員会・広報委員会・安全安心委員会
6月28日	学年委員会	食堂試食会反省会
7月14日	第2回役員会・理事会	役員会・各委員会活動について・体育大会について他
7月20日	体育大会	杉森会長出席・学年委員会・広報委員会・安全安心委員会
8月2日	県高P連指導者研修会	（リモート参加））
8月3日	3学年強化学習会激励会	アクエリアス配付
8月25・26	全国高P連全国大会	石川大会（リモート参加）
10月8日	文化祭	杉森会長出席・広報委員会
10月24日	広報委員会	PTA新聞「美すじ104号」 編集会議
11月15日	北九州地区公立高等学校PTA役員研修会	杉森会長出席（小倉リーセントホテル）
11月16日	第3回役員会・理事会	高P連全国大会の報告について他
12月14日	広報委員会	印刷業者との打合せ
1月11日	広報委員会	印刷業者との打合せ
1月13日	共通テスト激励会	必勝合格カイロ・キットカット配付
1月19日	学年委員会	新旧引継ぎ
1月26日	第4回役員会・理事会	来年度の役員選考について他
1月31日	役員・理事	在校生へ来年度PTA委員ご協力のお願い配付
2月16日	北九州地区公立高等学校PTA連合会会長連絡会議	杉森会長出席（小倉リーセントホテル）
2月28日	広報委員会	PTA新聞「美すじ104号」 配布
3月1日	卒業式	杉森会長出席
3月17日	役員・理事	合格者説明会・新1年生へPTA委員ご協力のお願い配付・回収
3月17日	役員・理事	令和5年度役員選出会議
4月7日	入学式	杉森会長出席
4月24日	第5回役員会・理事会	令和4年度決算、令和5年度予算・役員選考・PTA総会・津苑会総会会誌広告協賛について他

令和4年度　PTA会費決算書

収入の部　　福岡県立小倉西高等学校　（単位：円）

科目	4年度 予算額 ①	4年度 決算額 ②	比較増減 ②−①	内容
繰越金	3,050,563	3,050,563	0	3年度からの繰越
会費	6,336,000	5,850,000	△ 486,000	会費 800円×延べ5,133件会費 600円×延べ2,906件
雑収入	900	39	△ 861	預金利息等
合計	9,387,463	8,900,602	△ 486,861	

支出の部

科目			4年度 予算額 ①	4年度 決算額 ②	差引残額 ①−②	内容
運営費			3,550,000	2,268,870	1,281,130	
	事務局費		2,440,000	1,957,616	482,384	
		会議費	300,000	40,646	259,354	役員会、委員交通費、茶代
		会費負担金	220,000	190,200	29,800	県高P連会費
		人件費	1,740,000	1,625,891	114,109	PTA雇用事務員給与、保険料
		渉外費	50,000	40,000	10,000	対外折衝費
		事務費	80,000	43,220	36,780	諸用紙代等
		通信費	30,000	17,659	12,341	切手代他
		諸経費	20,000	0	20,000	
	事業費		1,110,000	311,254	798,746	
		研修会費	300,000	14,054	285,946	各研修会
		活動費	750,000	270,301	479,699	委員会活動費
		慶弔費	50,000	26,899	23,101	祝儀、香典等
		雑費	10,000	0	10,000	
学校援助費			4,995,000	3,726,189	1,268,811	
	教育充実費		4,400,000	3,448,229	951,771	
		学校行事費	800,000	792,484	7,516	入学式・卒業式、文化祭・体育大会等経費
		図書購入費	650,000	649,807	193	図書館図書購入費
		教材教具費	50,000	42,108	7,892	各教科等教材費
		研究部会費	380,000	208,610	171,390	各教科研究部会費等
		部活動指導手当	1,870,000	1,105,220	764,780	
		学校支援整備準備金	650,000	650,000	0	
	維持費		310,000	177,320	132,680	
		保健衛生費	50,000	34,320	15,680	洗浄剤
		需用費	160,000	44,000	116,000	新聞代、外消耗品代
		環境整備費	100,000	99,000	1,000	生徒昇降口マット
	諸費		285,000	100,640	184,360	
		校務費	200,000	53,240	146,760	校務関係諸費用
		旅費	80,000	47,400	32,600	
		雑費	5,000	0	5,000	
予備費			842,463	235,700	606,763	3年生会費減額による返金
合計			9,387,463	6,230,759	3,156,704	

収入金額　8,900,602 ー 支出金額　6,230,759 =残高　2,669,843（次年度に繰り越します）

◎学校支援整備準備金収支決算書

収入の部

費目	4年度 予算額 ①	4年度 決算額 ②	比較増減 ②−①	内容
繰越金	3,332,411	3,332,411	0	3年度からの繰越
学校支援整備準備金	650,000	650,000	0	
雑収入	660	31	-629	預金利息
合計	3,983,071	3,982,442	-629	

支出の部

費目	4年度 予算額 ①	4年度 決算額 ②	差引残額 ①−②	内容
	0	0	0	
	0	0	0	
合計	0	0	0	

収入金額　3,982,442 ー 支出金額　0　=残高　3,982,442　（次年度に繰り越します）

以上のとおり収支決算を報告します。

令和5年4月24日

福岡県立小倉西高等学校PTA　会長　杉森　孝司

令和4年度決算について監査の結果、上記のとおり相違ないことを認めます。

令和5年4月24日

監査　寺田　朋嗣　印　　監査　河村　紀子　印

令和4年度 学術・文化・体育振興費決算書

収入の部　　福岡県立小倉西高等学校　（単位：円）

費目	4年度 予算額①	4年度 決算額②	比較増減 ②−①	内容
繰越金	2,616,503	2,616,503	0	3年度からの繰越金
会費	3,369,600	3,351,150	△ 18,450	@450×延べ7,447件
雑収入	110	21	△ 89	預金利息
合計	5,986,213	5,967,674	△ 18,539	

支出の部

費目	4年度 予算額①	4年度 決算額②	差引残額 ①−②	内容
皆勤賞	350,000	120,480	229,520	図書カード
学術優秀賞	150,000	57,015	92,985	賞状用紙・優秀賞功労賞図書カード
学力補充費	200,000	35,433	164,567	共通テスト激励会・強化学習会
部活動指導手当	500,000	164,150	335,850	バトン部・アート部
部活動遠征費補助	300,000	146,458	153,542	九州・全国大会出場物品補助
部活動応援費	300,000	239,550	60,450	横断幕・懸垂幕
部活動施設設備整備費(少額分)	100,000	93,500	6,500	トレーニング用品
損害保険料	100,000	79,077	20,923	野球(硬式)賠償責任保険料
生徒会補助	1,600,000	1,600,000	0	
生徒会イベント補助	0	0	0	
マイクロバス整備維持費	600,000	600,000	0	自動車税、整備料、保険代
学術文化体育振興費準備金	400,000	600,000	△ 200,000	学術文化体育振興費準備金口座に預入
スクールカウンセラー費	500,000	0	500,000	
予備費	641,158	4,500	636,658	転学者返金
合計	5,741,158	3,740,163	2,000,995	

収入決算額 5,967,674 −支出決算額 3,740,163 ＝差引金額 2,227,511（次年度に繰り越します）

令和4年度学術・文化・体育振興費準備金決算書

収入の部

費目	4年度 予算額①	4年度 決算額②	比較増減 ②−①	内容
繰越金	3,783,468	3,783,468	0	3年度からの繰越金
積立金	600,000	600,000	0	学術文化体育振興費から
雑収入	620	27	△ 593	預金利息
合計	4,384,088	4,383,495	△ 593	

支出の部

費目	4年度 予算額①	4年度 決算額②	差引残額 ①−②	内容
マイクロバス臨時修理代	4,383,495	867,320	3,516,175	
合計	4,383,495	867,320	3,516,175	

収入決算額 4,383,495 −支出決算額 867,320 ＝差引金額 3,516,175（次年度に繰り越します）

以上のとおり収支決算を報告します。

令和5年4月24日

福岡県立小倉西高等学校PTA 会長　杉森 孝司

令和4年度決算について監査の結果、上記のとおり相違ないことを認めます。

令和5年4月24日

監査 寺田 朋嗣　　監査 河村 紀子

令和５年度　活動計画

本規約の第２条、第３条に基づき事業の活性化を目指し、本年度の重点項目を次のように計画する。

各委員会の活動と学校行事への積極的協力

役　員　会	ＰＴＡ交流会		
	新規事業の企画		
	体育大会ＰＴＡ企画		
委　員　会	内　　容	期　日	
学年委員会	学校食堂試食会	未定	
	ＰＴＡ研修（大学・地域視察等）	未定	
	文化祭バザー主催	１０月	
広報委員会	会報「美すじ」発行 年１～２回発行	1-3学期	
安全安心委員会	体育大会・校内パトロール	６月	
	小倉祇園・校外パトロール	７月	
	文化祭・バザー手伝い	１０月	
役員選考委員会	令和６年度役員選考	3学期	

令和5年度 PTA会費予算書

収入の部

（単位：円）

科目	本年度予算額①	4年度予算額②	比較増減①－②	内容
繰越金	2,669,843	3,050,563	△ 380,720	4年度からの繰越
会費	6,720,000	6,336,000	384,000	@800×生徒、職員 延べ8,400 名
雑収入	900	900	0	預金利息等
合計	9,390,743	9,387,463	3,280	

支出の部

科目			本年度予算額①	4年度予算額②	比較増減①－②	内容
運営費			3,800,000	3,550,000	250,000	
	事務局費		2,440,000	2,440,000	0	
		会議費	300,000	300,000	0	各委員会会議交通費等
		会費負担金	220,000	220,000	0	高P連会費
		人件費	1,740,000	1,740,000	0	PTA雇員給与、社会保険料、雇用保険料
		渉外費	50,000	50,000	0	対外折衝費
		事務費	80,000	80,000	0	諸用紙、事務用品代
		通信費	30,000	30,000	0	切手代等
		諸経費	20,000	20,000	0	
	事業費		1,360,000	1,110,000	250,000	
		研修会費	500,000	300,000	200,000	全国大会、九州大会、各研修会
		活動費	800,000	750,000	50,000	各委員会等活動費
		慶弔費	50,000	50,000	0	
		雑費	10,000	10,000	0	
学校援助費			5,029,000	4,995,000	34,000	
	教育充実費		4,434,000	4,400,000	34,000	
		学校行事費	1,150,000	800,000	350,000	入学式・卒業式、体育大会等
		図書購入費	784,000	650,000	134,000	図書館図書購入
		教材教具費	50,000	50,000	0	保健雑誌、新聞代等
		研究部会費	380,000	380,000	0	各種協議会、研究部会費等
		部活動指導手当	1,870,000	1,870,000	0	
		学校支援準備金	200,000	650,000	△ 450,000	
	維持費		310,000	310,000	0	
		保健衛生費	50,000	50,000	0	
		需用費	160,000	160,000	0	消耗品代
		環境整備費	100,000	100,000	0	
	諸費		285,000	285,000	0	
		校務費	200,000	200,000	0	校務関係諸費用
		旅費	80,000	80,000	0	研修会等旅費
		雑費	5,000	5,000	0	
予備費	予備費		561,743	842,463	△ 280,720	
合計			9,390,743	9,387,463	3,280	

令和5年度 学校支援整備準備金予算書(案)

収入の部

（単位：円）

科目	本年度予算額①	4年度予算額②	比較増減①－②	内容
繰越金	3,982,442	3,332,411	650,031	4年度からの繰越
学校支援準備金	200,000	650,000	-450,000	
雑収入	660	660	0	預金利息等
合計	4,183,102	3,983,071	200,031	

支出の部

科目	本年度予算額①	4年度予算額②	比較増減①－②	内容
合計	0	0	0	

令和5年度　学術・文化・体育振興費予算書

収入の部　　（単位：円）

費目	本年度予算額①	4年度予算額②	比較増減①－②	内容
繰越金	2,227,511	2,616,503	△ 388,992	4年度からの繰越
会費	3,585,600	3,369,600	216,000	@450×延べ7,968
雑収入	110	110	0	預金利息
合計	5,813,221	5,986,213	△ 172,992	

支出の部

費目	本年度予算額①	4年度予算額②	比較増減①－②	内容
皆勤賞	350,000	350,000	0	図書カード等
学術優秀賞	150,000	150,000	0	賞状用紙
学力補充費	200,000	200,000	0	共通テスト激励会・強化学習会
部活動指導手当	500,000	500,000	0	部活動外部講師等
部活動遠征費補助	300,000	300,000	0	九州大会、全国大会補助
部活動応援費	750,000	300,000	450,000	横断幕・懸垂幕・ユニホーム補助
部活動施設設備整備費(少額分)	100,000	100,000	0	小規模な施設設備整備
野球部損害保険料	100,000	100,000	0	野球部保険料
生徒会補助	1,250,000	1,600,000	△ 350,000	生徒会補助
生徒会イベント補助	0	0	0	
マイクロバス整備維持費	600,000	600,000	0	税、整備料、保険料
学術文化体育振興費準備金	600,000	600,000	0	積立金口座に預入
教育相談費	400,000	500,000	△ 100,000	スクールカウンセラー等に対する報酬
予備費	513,221	686,213	△ 172,992	
合計	5,813,221	5,986,213	△ 172,992	

◎令和5年度学術・文化・体育振興費準備金予算書(案)

収入の部

費目	本年度予算額①	4年度予算額②	比較増減①－②	内容
繰越金	3,516,175	3,783,468	△ 267,293	4年度からの繰越
積立金	600,000	600,000	0	学術文化体育振興費から
雑収入	620	620	0	預金利息
合計	4,116,795	4,384,088	△ 267,293	

支出の部

費目	本年度予算額①	4年度予算額②	比較増減①－②	内容
			0	
合計	0		0	

令和5年度 PTA役員・理事名簿

役職名	氏名	年	組
会　長	中　美貴	2	6
副会長	河村　紀子	2	2
副会長	溝手　美智子	2	4
副会長	平井　由香	1	2
書　記	槇山　暁	1	5
会　計	嵯峨山　久美	1	4
安全・安心委員長	熊本　紘治	3	4
〃 副委員長	大冨　美佐	3	1
広報委員長	安元　裕加	3	2
〃 副委員長	花山　久美子	2	1
学年委員長	行実　利穂	2	6
〃 副委員長	上村　亜紀	3	1
〃 副委員長	齊藤　麻美	3	4
〃 副委員長	山之内　真理	2	1
校　長	白川　英治		
教　頭	田中　厚範		
事務長	本木　ひびき		

小倉西高等学校グランドデザイン

創立125年の歴史と伝統

学校番号 13

校訓 強く 正しく 美はしく

強　く → 困難に耐えて生き抜く逞しさ
正しく → 確かな学力と公正な判断力
美はしく → 礼儀正しく誠実な心

スクール・ミッション（西高が目指す学校像）

知性と品格を備え、社会を牽引する「人財」を育成する学校。

・教育目標「Agency」（主体性・自立性）のスローガンを掲げ、「自ら考え、主体的に行動し、責任を持って社会変革を実現していく生徒」を育成します。

・校訓「強く・正しく・美はしく」のもと、心身ともにたくましく、確かな学力と公正な判断力を有し、礼儀正しく誠実な心を持つ生徒を育成します。

スクール・ポリシー（西高の3つの教育方針）

アドミッション・ポリシー（本校が求める生徒像）
・自らの将来を真剣に考え、主体的に学ぶ意欲を持った生徒
・協調性や主体性に富み、豊かな心を持った生徒
・失敗を怖れず何事にも積極果敢に挑戦する生徒

カリキュラム・ポリシー（本校が展開する教育活動）
・生徒が主体的・協働的に企画運営する学校行事の実施
・地域の教育資源を活用した体験活動・探究活動の実施
・ICTを活用した個別最適な学びの提供

グラデュエーション・ポリシー（本校が目指す資質・能力）
・主体的に学び続け、自己実現を目指す生徒の育成
・他者を尊重し、他者と協働する力を持った生徒の育成
・変化に柔軟に適応する力を持った生徒の育成

⇔

地域
ＰＴＡ
中学校
大学
津苑会（同窓会）
スクールカウンセラー
訪問相談員

「 鍛ほめ福岡メソッド 」の実践 ～鍛えて、ほめて、子どもの可能性を伸ばす～

小倉西高校はみずからすすんでじぶんを高める学校です。

「三筋（みすじ）」の伝統：福岡県立小倉高等女学校であった大正元年（1912年）当時、本校の制服と社会進出を果たした職業婦人の制服とが紛らわしくなり袴に筋を付けることになった。福岡高女（現在の福岡中央高校）は裾に二本線、小倉師範附属小学校（現在の福岡教育大学附属小倉小学校）が一本線を付けていたことから、区別のため本校は袴と校章に三本線をつけることとなった。上記キャッチフレーズはこの「三筋（みすじ）」の伝統に由来する。

令和5年度の教育重点目標

1　教育内容の充実と改善
① 学習指導要領や大学入試改革の動向に対応できるカリキュラムの構築と観点別学習評価の確立
② 主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善、ＩＣＴの効果的活用、教授内容の高度化
③ ＳＤＧｓをテーマとする文理融合型探究活動の推進、産学官との連携強化
④ 社会に開かれた教育課程を実現するための中高連携等を通じたキャリア教育の推進

2　生徒の人格形成に資する取組
① 挨拶・服装・礼儀等、品格ある言動を身に付けさせる生徒指導の充実
② 特別活動を通じた主体性・協調性の向上とリーダーシップの育成
③ 多様性を認め合い、互いを尊重する心を育てる人権教育、道徳教育の充実
④ 成人年齢引き下げに伴う主権者教育、消費者教育の推進

各部教育活動方針

1　教　務　部

①「指導と評価の一体化」の充実に向けた授業改善と教授内容の高度化
②　個別最適な学びの実現に向けたICTの利活用
③　生徒、保護者、地域等との連携強化を意識した円滑な情報の発信
④　教授内容の高度化を見据えたICT機器利活用の促進

2　生徒指導部

①　Agency教育を推進し、生徒の社会規範意識・倫理観（人権意識）・自己指導力の育成
挨拶・服装・礼儀等、品格ある行動を身につけさせる指導の充実
② 安心安全な学校環境整備・危機管理体制の構築および教育相談体制の充実

3　進路指導部

① 新学習指導要領や大学入試改革の動向等に対応し、主体的・自立的に社会への関わり方を掘り下げる早期からの進路探究力の醸成
② 全職員での小論文・面接指導体制の充実
③ 進路目標を明確にし、主体的に学習する生徒の育成
④ 自ら情報収集を行い、自身の課題を認識・解決していく生徒

4　企画研修部

①　分掌間の連携の向上、効率的な校務運営への寄与
②　教職員の教科指導力の向上の支援
③　図書教育の推進
④　式典や学校行事が円滑な実施
⑤　学校内の環境整備、教育活動が円滑に行われるような庶務営繕

5　学年統括部

① 生徒自ら考え行動し検証する「総合的探究の時間」の構築
② 学年の枠を越えた学校行事やＳＤＧｓ活動の企画・立案・実施
③　産学官との連携を強化し、ＳＤＧｓをテーマとする文理融合型探究活動の推進

（1）１学年
①基本的生活習慣の確立と自己管理能力の育成
②学習意欲の向上と進路意識の高揚

（2）２学年
①自ら考え主体的に行動する生徒の育成
②学習意欲の向上と進路意識の高揚

（3）３学年
①希望進路実現のために、最後まで粘り強く努力し続ける生徒の育成
②最上学年として学校行事、部活動においてリーダーシップを発揮し、後輩の手本となる生徒の育成
③社会人として必要な態度やマナーを身につけた生徒の育成

6　事　務　室

① 財産会計事務の適正な執行
② 学校運営方針に沿った予算の有効活用
③ 財産の適正な管理

令和４年度 進路実績および部活動成績

合格数一覧（最近５ヶ年）

区分＼年度	令和4年度			令和3年度			令和2年度			令和元年度			平成30年度		
	新卒	旧卒	計	新卒	旧卒	計	新卒	旧卒	計	新卒	旧卒	計	新卒	旧卒	計
国立大	23	3	25	29	3	32	18	5	23	21	4	25	31	4	35
公立大	49	2	51	34	1	35	29	1	30	46	2	46	40	1	41
国公立計	72	5	76	63	4	67	47	6	53	67	6	73	71	5	76
私立大	225	19	242	186	15	201	240	14	254	277	5	282	164	10	174
大学校	5	1	6	8	0	8	8	0	8	8	0	8	4	1	5
国公立短大	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
私立短大	5	0	5	5	0	5	2	0	2	7	0	7	8	0	8
専修・各種	24	0	24	33	0	33	41	0	41	55	0	55	26	0	26
公務員	3	0	3	2	0	2	0	0	0	3	0	3	0	0	0
就職	1	0	1	3	0	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0
合計	336	25	358	300	19	319	339	20	359	418	11	429	273	16	289
クラス数	5			5			5			6			5		

令和4年度卒業生（75期生）の主な合格先

【国公立大学・大学校】

九州大学	2	九州工業大学	11	北九州市立大学	31
京都工芸繊維大学	1	京都教育大学	1	福岡教育大学	2
広島大学	1	山口大学	1	長崎大学	1
鹿児島大学	1	横浜市立大学	1	長野大学	1
兵庫県立大学	1	県立広島大学	1	山口東京理科大学	2
周南公立大学	1	下関市立大学	6	福岡県立大学	4
長崎県立大学	1	防衛大学校	1		

【私立大学・専門学校】

西南学院大学	11	産業医科大学	3	青山学院大学	1
福岡大学	35	立命館大学	3	関西学院大学	3
近畿大学	13	同志社大学	2	駒澤大学	2
名古屋外国語大学	1	福岡工業大学	32	北九州市立看護専門学校	3

令和4年度　部活動成績

世界大会出場

水泳部［マデイラ2022パラ水泳世界選手権］４位入賞　1名

全国大会出場

卓球部［全国総合体育大会］男子個人１名
［全国選抜大会］女子個人１名
放送部［NHK杯全国高校放送コンテスト］福岡県代表　１名
総合部［全国高文連小倉百人一首大会］ベスト１６　福岡県代表　１名
総合部［全国高文連将棋選手権大会］福岡県代表　１名

九州大会出場

卓球部［全九州体育大会］男子個人１名
［新人大会］女子団体
水泳部［全九州高校選手権新人大会］男子４名　女子２名

県大会出場

卓球部［高校総体］単：男子７名　女子５名　複：男子４組　女子２組　男女団体
［国民体育大会］単：男子９名　女子６名
［全日本ジュニア］単：男子４名　女子２名
［新人大会］男女団体　単：男子７名　女子６名
［全国選抜］単：男子７名　女子６名
バドミントン部［高校総体］男女団体　［新人大会］男女団体
ハンドボール部［高校総体］男子
弓道部［新人大会］男子１名　女子１名
陸上部［学年別対抗選手権大会］走高跳　女子１名
書道部［総合文化祭］女子３名　［国際高校生選抜書展］女子２名
アート部［高文祭］男子２名　女子２名　［デザインコンペ　自由部門］女子１名
［絵はがきコンクール］男子１名　女子２名
放送部［放送コンテスト］朗読部門　第２位　女子１名　アナウンス部門　女子１名
［総合文化祭放送部門］朗読部門　女子１名　男子１名
吹奏楽部［福岡県アンサンブルコンテスト］打楽器三重奏　銀賞　男子１名　女子２名

福岡県立小倉西高等学校ＰＴＡ規約

第１章　総　則

（名　称）

第１条　この会は、福岡県立小倉西高等学校ＰＴＡという。

（目　的）

第２条　この会は、学校・家庭・地域社会との密接な連絡と積極的な協力により、民主的教育の振興を図り、会員相互の知識・教養の向上を目的とする。ただし、営利を排し政党・宗教にかかわらない。また、学校行政の指導及び教育方針への干渉は行わない。

（事　業）

第３条　この会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

1　教育環境の整備充実
2　教育目的達成のための調査研究
3　学校教育と家庭教育の連携
4　会員の研修と親睦
5　教職員・生徒の支援に関する事項
6　その他目的達成に必要な事業

第２章　組　織

（会　員）

第４条　この会の会員は次のとおりとする。

1　本校生徒の保護者
2　本校の教職員
3　本校の卒業生の両親、または保護者で会の目的に賛同する者は、理事会の承認を得て賛助会員となることができる。ただし、期間は１年に限る。

（事務局）

第５条　この会の事務局を福岡県立小倉西高等学校内に置く。

(権利と義務)

第６条　会員は、すべて同等の権利と義務を有し、この会の活動に積極的に参加するものとし、会の運営について意見を述べることができる。

1　会員は、所定の会費を納入しなければならない。　ただし、理事会が必要と認めたときは、全額または一部を免除できるものとする。

（理　事）

第７条　この会に、次の理事を置く。

1　各委員会の正副委員長
2　各学年の学年主任ほか教師数名

（事務職員）

第８条　この会の事務を処理するために、事務職員を置くことができる。

１　事務職員は、会長が推薦し理事会で承認を得る。

２　就業規定・給与等は、別に定める。

第３章　役　員

（役　員）

第９条 この会に次の役員を置く。

会　長　１名　　副会長　４名　　書　記　２名（内１名は教職員）

会　計　２名（内１名は事務長）

（役員の選出）

第１０条　役員は役員選考委員会で選考し、年度当初の総会で選出する。

（役員の任務）

第１１条　役員の任務は次のとおりとする。

１　会長は、会務を総括し会を代表する。

２　副会長は、会長を補佐し会長不在のときは、その任務を代行する。また事故あるときは、その職務を代行する。

３　書記は、諸会議の連絡並びに議事を記録し、関係書類を保管し、会の事務を処理する。

４　会計は、会の経費を収納し、支払等を行う。

（役員の任期）

第１２条　役員の任期は、一年とする。ただし再任を妨げない。

第４章　機　関

（議決機関等）

第１３条　この会に、次の議決機関等を置く。

１ 総 会　２ 理事会　３　役員会　４　委員会　５　特別委員会

（総　会）

第１４条　総会はこの会の最高議決機関で、会長が招集し、年度当初に開催する。ただし会員の１０分の１以上の要請があった場合、または会長が必要と認めたときは速やかに臨時総会を開催しなければならない。

２　総会は、委任状を含めた会員の２分の１以上の出席によって成立し、出席者の過半数で議決する。ただし規約の改正は、出席者の３分の２以上の承認を要する。

３　総会の正副議長は、理事会構成員を除く会員中より選出する。

４　次の事項は、総会議決を経なければならない。

（１）規約の改正

（２）事業計画

（３）予算の審議及び決算の承認

（４）役員の選出

（５）その他、重要事項

（理事会）

第１５条　理事会は、役員と理事（委員会の正副委員長）・校長・教頭をもって構成し、会長が招集する。

２　理事会は、次の事項を審議し処理する。

（1）総会において付託された事項

（2）総会の企画・議案

（3）総会において決定した方針に基づく業務の遂行

（4）総会において決定した予算や活動計画の補正

（5）各委員会の連絡調整

（6）各委員会の立案した計画の承認

（7）特別委員会の設置

（8）その他、緊急事項

（役員会）

第１６条　役員会は、役員・校長・教頭・事務長・理事（委員会の委員長）で構成し、必要に応じて会長が招集する。

２　役員会は、総会及び理事会で決定した方針に基づいて、諸行事や緊急事項を検討し理事会に建議する。

３　教職員・生徒・会員の教育上の要請に応じ、意見を学校及び会に反映させるとともに、会員相互の連帯親睦を図る。

４　１学年・２学年・３学年、学年単位の会員相互と教職員との情報交換及び親睦を図り、また研修を行う。

（委員会）

第１７条　この会に次の委員会を置く。

１ 広報委員会　　２ 安全・安心委員会　　３ 学年委員会

４ 役員選考委員会　　５ 特別委員会

（委員会の目的）

第１８条　委員会の目的は次のとおりとする。

１　広報委員会は、会の活動を会員に報告するとともに、会員相互の意思の疎通を図る。

２　安全・安心委員会は、学校・公共機関と協力して生徒の校内外における健全育成・非行防止を図り、安心・安全な学校生活を確保する。

３　学年委員会は、生徒の保健体育及び教職員・生徒の福利厚生に関する事項及び、研修や調査活動を通じて会員相互の知識教養の向上を図る。

４　役員選考委員会は、理事会より選出された委員で構成され、会の役員（会長・副会長・書記・会計・監事）を選考し、総会に諮る。

５　特別委員会は、理事会が特に必要とした目的を達成するための事項を担当する。

第５章　会　計

（監事）

第１９条　この会の会計を監査するため２名以内の監事を置く。

２　監事は、総会において選任される。

３　監事は、役員、理事を兼ねることができない。

（事業費）

第２０条　この会の事業費は次の収入をもってあてる。

１ 会員による会費

２ 本会の趣旨に賛同する者の搬出金

３ その他の収入

（会　費）

第２１条　会費は会員１人あたり月額８００円とする。ただし、会費の額の改定については総会において決定するものとする。

（会計監査）

第２２条　監事はこの会の会計監査を行い、総会に報告する。

（会計年度）

第２３条　この会の会計年度は、４月１日から翌年３月３１日までとする。

附　則

１　この規約は昭和３２年５月１８日から施行する。

２　昭和５０年５月一部改正

３　昭和５０年１０月一部改正

４　昭和５１年５月１５日一部改正

５　昭和５４年５月１９日一部改正

６　昭和６０年５月１２日一部改正

７　平成１３年５月１２日一部改正

８　平成１７年４月２３日一部改正

９　平成１９年４月２１日一部改正

１０　平成２１年５月全面改正

１１　平成２３年４月２３日一部改正

１２　平成２４年４月２７日一部改正

１３　平成２５年４月２６日一部改正

１４　平成３１年４月２６日一部改正

１５　令和　２年４月２１日一部改正

主な奨学金制度（過年度参考資料）

下記は令和４年度に本校で募集をおこなった主な奨学金です。
奨学金申込みを検討する際の参考にして下さい。
申込みの際には、学校からの推薦書や成績証明書、役所で申請取得する住民票や所得証明書等が必要な場合があります。また、多くの奨学金で家計基準が設けられています。
今年度は募集要件などが変更になっているものもあるので、詳細は各奨学金ホームページで確認して下さい。

【在学募集】　在学生(１～３年生)対象で、高校在学中に支給されるもの

名称	月額	期間	募集時期	備考
福岡県教育文化奨学財団奨学金《貸与》	1万円，1.5万円 1.8万円から選択	高等学校 在学中	４月中旬頃 ＊緊急募集は随時	保護者が福岡県内に生活の本拠を有し、学資の支弁が困難な者
吉本章治奨学会 【給付】	15,000円 （年額18万円）	最長 ２年間	４月中旬頃	福岡県内に在住し、学資の支弁が困難な者
朝鮮奨学会高校奨学生 《貸与》	10,000円	１年間 (継続審査有)	４月上旬 ～５月上旬	日本の各高等学校に在籍している、国籍表示が韓国もしくは朝鮮の学生
ひとり親家庭支援奨学金制度【給付】	30,000円	１年間 (最長３年間)	４月下旬	ひとり親世帯(母子家庭・父子家庭)詳細は各地区母子寡婦福祉協議会へ
あしなが育英会 《貸与》＋【給付】	45,000円 (貸与2,5万円 ＋給付2万円)	高等学校 在学中	５月中旬 ９月下旬 １２月中旬	保護者が病気や災害、自死などで死亡、または著しい障害を負っており、経済的に苦しい家庭の生徒
交通遺児育英会 《貸与》	2万円，3万円 4万円から選択 (入学一時金貸与有)	高等学校 在学中	５月 ～翌年１月	保護者等が道路における交通事故で死亡したり、著しい後遺障害のため働けなくなった家庭の生徒
ニビキ育英会 【給付】	15,000円	高等学校 在学中	６月頃 （１年次に申込み）	福岡県内に生活の本拠を有する母子家庭の子女で第１学年に在学中の者
北九州市奨学資金 (高校奨学生)《貸与》	18,000円	高等学校 在学中	６月頃	北九州市に６か月以上住所を有する人、またはその子弟
福原育英奨学金 【給付】	100,000円 （年額）	１年間	７月頃	福岡県内に居住する高校３年生で、経済的理由で修学困難であり、大学進学を希望している者
山九交通遺児奨学生 【給付】	15,000円	高等学校 在学中	随時	北九州市在住で交通事故により主たる生計維持者(父・母)と死別した者
日本教育公務員弘済会 【給付】	50,000円１回	１回	９月上旬	学資金の支払いが特に困難と認められる生徒
金澤奨学会 【給付】	200,000円 （大学進学支度費として）	１回	１０月上旬 （大学進学予定の３年生対象）	福岡県内の高校３年生で、翌春大学進学希望かつ経済的理由により就学が困難な学生(その他詳細基準有)

＊《貸与》は卒業後、返還しなくてはならない奨学金です。(有利子・無利子あり)
【給付】は返還する必要がありませんが、採用条件が《貸与》より厳しくなります。

【予約募集】 （３年生対象で、高校在学中に進学後の奨学金を予約申込みするもの）

名称	月額	期間	募集時期	備考
日本学生支援機構(国内) 【給付】 ・給付奨学金 《貸与》 ・第一種奨学金(無利子) ・第二種奨学金(有利子)	【給付】《貸与》 ともに 国公立/私立 自宅通学/自宅外通学 から金額を選択	４月～卒業 (最短修学 年限)まで	第１回：４月末 ～５月末 第２回：６月 ＊R6年度 進学者対象 日程	【給付】《貸与》ともに「家計基準」「学力基準」あり 機構への書類提出(学校経由)と、各人でのインターネット申込みが必要 マイナンバーの提出が必要 ※毎年、申込み手順・日程が変わっているので注意
日本学生支援機構(国外) 《貸与》 ・第二種奨学金(有利子)	２万円～12万円まで 1万円単位で選択	入学～卒業 (最短修学 年限)まで	７月頃	提出書類等が「国内大学等予約採用」より多いので注意が必要 進学先が国内・国外未定の場合、「国内大学等予約採用」と「海外予約奨学金」の両方への申込み可
あしなが育英会 《貸与》＋【給付】	70,000円 (貸与4万円＋給付3万円) 80,000円 (貸与5万円＋給付3万円)	４月～卒業 (最短修学 年限)まで	５月 ～６月中旬	保護者が病気や災害、自死などで死亡、または著しい障害を負っており、経済的に苦しい家庭の生徒
交通遺児育英会 《貸与》	4万円，5万円 6万円から選択	４月～卒業 (最短修学 年限)まで	８月上旬 １２月中旬	保護者等が道路における交通事故で死亡したり、著しい後遺障害のため働けなくなった家庭の生徒
北九州市奨学資金 (大学奨学生)《貸与》	国公立45,000円 私立54,000円	高等学校 在学中	１１月上旬 ～１２月上旬	北九州市に６か月以上住所を有する人、またはその子弟
余慶会 【給付】	700,000円 (年額)	４月～卒業 (最短修学 年限)まで	９月 ～１２月中旬	福岡県内の高校に在学しているひとり親家庭の生徒で、進学(短大・専門学校を含む)を希望する者
ニビキ育英会 【給付】	40,000円	４月～卒業 (最短修学 年限)まで	１月頃	福岡県内に生活の本拠を有する母子家庭の子女で大学進学を希望する者
キーエンス財団奨学金 【給付】	80,000円	４年間 (大学１年生 ～４年生)	２月頃 ～４月上旬	財団ホームページから直接応募

※日本学生支援機構の予約奨学金については、４月中旬に説明会をおこなう予定です。申し込む予定の人は必ず参加してください。申込みが３回ありますが、選考結果が遅くなるので、できる限り１回目で申し込むことをお勧めします。

ここに掲載したもの以外にも、さまざまな奨学金があります。
ホームルームを通じて案内をしていますので、確認して下さい。
また、募集要件や日程が変わっているものもあるので、必ず今年度のものを確認して下さい。